



snow peak
outdoor lifestyle creator since 1958

屋外専用

GS-1000

ギガパワー L1ストーブ 剛炎

この製品はアウトドア用に開発された屋外専用の分離型こんろです。室内、車内、テント等では使用しないでください。一酸化炭素中毒死や酸欠により窒息死の恐れがあります。屋外であっても狭い空間では換気にご注意ください。使用中または使用直後は器具が熱くなっていますので火傷には十分注意してください。また、お子様が手を触れないようにご注意ください。

取扱説明書

この度はスノーピーク製品をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。永く安全にご使用いただくためにも本取扱い説明書を必ずお読みください。また、読み終わつたあとも大切に保管してください。説明書に疑問や理解出来ない内容があった場合は、使用前に必ず弊社までお問い合わせください。

スノーピークの燃焼器具は全数燃焼テストを実施して出荷しております。燃焼テストによりゴトクやバーナーヘッド、風防などが若干変色していますがご了承ください。

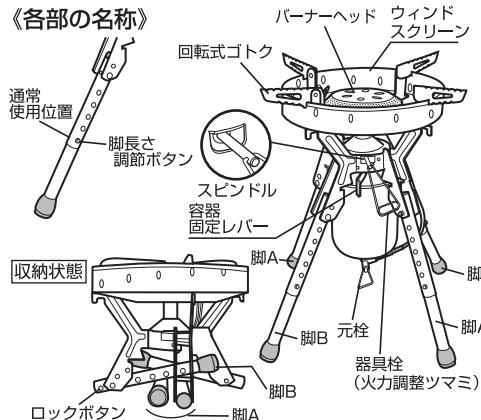
本取扱説明書における警告と注意について

△警告: 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

△注意: 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険、及び物的損害の発生が想定されることを示します。

警 告
本製品は従来にない高出力が長時間持続するように設計されています。従来のストーブに比べて発生する熱量は大変高く、消費する酸素や燃料も多くなっています。安全にご使用いただくために、取扱説明書の内容をよく理解してご使用ください。

警 告
ジェネレーターパイプは絶対に変形させないでください。変形させると正常燃焼しなくなります。



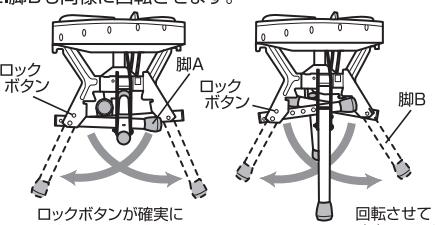
仕様

品 名	カセットこんろ(分離式)
型 式	GS-1000
外 形 尺 法	使用時 φ350×h420mm 収納時 φ240×H205mm
重 量	1800g
ガス 消 費 量	708g/h
出 力	8500kcal
専 用 容 器	シルバーOD缶 GP-250S GP-500S GP-500BL

●ガス消費量および出力は当社試験室にて測定、算出したものです。
●容器は上の表の、SNOWPEAK専用容器のみをお使いください。

本体の組み立て方

1.脚Aのロックボタンを押しロックを解除させ、脚を回転させます。途中カチッと音がしますが、最後まで回転させて確実にロックしてください。
2.脚Bも同様に回転させます。



- 3.脚長さ調節ボタンを押し、脚を伸ばします。通常は最も長い状態でご使用ください。
- 4.凸凹のある場所で使用する場合はゴトクが水平になるように脚長さを調節します。
- 5.回転式ゴトクを鍋の径にあわせて調節してください。



容器の取り付け方

- 1.ホース先端にある元栓ツマミを正面から見て時計回転方向に止まるまで回し元栓が完全に閉まっていることを確認してください。
- 2.本体にある器具栓(火力調整ツマミ)が正面から見て、時計回転方向に完全に閉まっているか確認してください。
- 3.容器の接合部を上にしてまっすぐに立てた状態で容器のネジ部と器具栓のネジ部の軸線を合わせ、容器の底から見て時計回転方向に回転させてねじ込み、自然に止まるよりやきつ目に閉めてください。接続部からガスが漏れていないことをシューという音や臭い等で確認してください。
- 4.固定レバーを右に回し容器を逆さまにして容器底部の淵(凸)を容器取り付け溝(2箇所)に差し込み、固定レバーを戻します。容器がしっかりと固定されていることを確認してください。



- △警告: 容器を取り付ける際は、必ず元栓のねじ部並びにOリングに異常が無いことを確認してください。異常が認められたときは容器を取り付けないでください。

- △注意: 容器の取り付け、取り外しの際は少量のガスが漏れることができます。火気のあるところや、換気の悪いところでは容器の着脱をしないでください。

操作のしかた

- △警告: 点火の際は、バーナーヘッドの上部に手や体を近づけたり、バーナーヘッドを覗き込んでください。大きな炎が上がり火傷の危険があります。

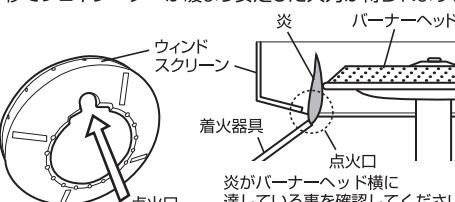
- △警告: 柄の長いマッチやライターを使い、必ず点火口から点火してください。

- △警告: 点火の際のツマミ操作は必ずゆっくりと行い、弱火で燃焼させてください。ツマミを勢いよく開放すると大量のガスが放出され大きな炎が上がりります。また気温が高く、容器の内圧が高まっているときや寒冷時にガスの気化が不十分など大きな炎が上がることがあります。大きな炎が上がってしまったらツマミを絞り炎が安定するまで弱火で燃焼させてください。

- △警告: 周囲や上方に燃えやすいものがないことを確認してください。

1.点火方法

器具栓ツマミ(上)を正面から見て反時計回転方向(左方向)に回します。ウインドスクリーン底部にある点火口より柄の長いマッチやライターなどの炎を挿入し、元栓ツマミをゆっくりと開き弱火で燃焼させてください。点火後数秒でジェネレーターが暖まり安定した火力が得られます。



2.火力調節

器具栓ツマミを反時計回転方向(左回転)に回すと火力が大きくなり、時計回転方向に回すと小さくなります。器具栓ツマミはゆっくりと回してください。

3.消火方法

元栓ツマミを時計方向(右回転)にゆっくりと止まるまで回します。火が完全に消えたことを確認した後器具栓ツマミを時計回転方向に止まるまで回します。

容器の取り外し方

- 1.元栓と器具栓が完全に閉じていることを確認してください。
- 2.容器固定レバーを右に回し、容器を外します。その後、容器接合部を上にして元栓と容器を外します。外した容器には必ずキャップを取り付けて保管してください。

収納のしかた

- 1.脚A、脚Bを組立とは逆手順で収納してください。
- 2.ホースの局部的な曲がり・折れの無いように、ケースに収納します。

使用上の注意

ガス漏れのあるもの、衝撃を受けたもの、正しく作動しなくなったものは使用しないでください。

- 1.高出力で調理を続けると鍋などの取っ手やツマミを損傷することがあります。鍋底をはみ出すような大きな炎で調理しないでください。
- 2.調理の目的以外に使用しないでください。
- 3.使用する前に器具栓にゴミやホコリが付着していないことを確認してください。器具栓は常にきれいにして、不用意に地面に置くなどしないでください。ゴミやホコリが付着すると出力を低下させたり、ガスが出ないなど故障の原因になります。
- 4.ご使用になる鍋は直径31cm容量10ℓを目安にお選びください。大きすぎる鍋は不安定になり転倒するなど危険です。

5.調理中は、鍋の輻射熱で床面が熱くなります。バーナーシートなど熱を反射するものを敷いてご使用ください。

6.気温や容器の温度によりガス圧が変化し燃焼状態(炎の具合やパワーなど)が変化します。

7.強い風や煮こぼれ等で火が消えることがあります。使用中は目を離さないでください。

8.異常燃焼が起きたときは速やかに消火し使用を中止してください。

9.炎があたる部分や炎に近い部分は金属が焼けて変色します。

10.ガス臭がしたら
決して着火しないでください。
全ての火や炎を消してください。
容器を取外してください。

点検・手入れのしかた

- 1.定期的に点検、手入れを行ってください。
- 2.ご使用になる前に器具が正常に動作することを確認してください。
- 3.煮こぼれしたときは、必ず布などでバーナーの清掃を行ってください。
- 4.故障または破損したと思われるときは使用しないでください。
- 5.お客様による修理は危険です。万一具合が悪くなったらお買い求めになった販売店または弊社にご相談ください。

故障・異常の見分け方と処置のしかた

原 因	専用容器を使用していない	容器のねじの異常	器具栓の故障	容器の取り付け不十分	スピンドル不良	容 器 の 異 常	バーナー部の目つまり	ノズルの目づまり
症 状								
専用容器が取り付けられない	✓	✓	✓					
ガスが漏れる		✓	✓	✓	✓	✓		
点火しない						✓	✓	✓
火力が弱い					✓	✓	✓	✓
炎が不揃い						✓	✓	✓
使用中に消える						✓	✓	✓
消火しない				✓	✓	✓		
処 置 方 法								
新規購入								
新しい容器と交換する								
点検修理を依頼する								
新しい容器と交換する								
点検修理を依頼する								
汚れを拭き取る								
汚れを拭き取る								

●上記の内容をご確認頂き、なお異常のあるときやお分かりにならないときは、お求めの販売店または弊社にご相談ください。

●消火しない場合は周囲の安全を確認し、ガスがなくなるまで燃焼させてください。

アフターサービス

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社にご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換をさせていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。また、以下のような場合は修理できないこともありますので予めご了承ください。

1.素材の経年劣化による損傷など製品の寿命。

2.誤った使い方や粗雑な取扱いによる故障。

3.改造による故障。

4.取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障。

株式会社スノーピーク

〒955-8616 新潟県三条市三貴地958

tel:0256-38-1110 fax:0256-38-1015

www.snowpeak.co.jp

安全上の注意事項

ご使用前の注意

警 告

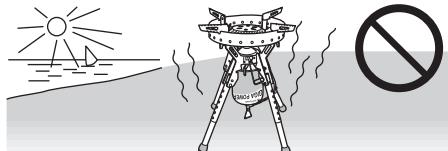
この器具には指定のsnowpeak専用容器をご使用ください。それ以外の容器は使用しないでください。また、snowpeakであっても使用できる容器が定められていますので、裏面の[専用容器]をご覧ください。



■ 理由 ■専用以外の容器はバルブ形状、ノズル太さなど規格が異なります。この基本設計の違いでガス漏れが発生し引火や火災あるいは異常燃焼を起こすことがあります。スノーピークの容器は最適なパフォーマンスを発揮するための配分を調整しています。

警 告

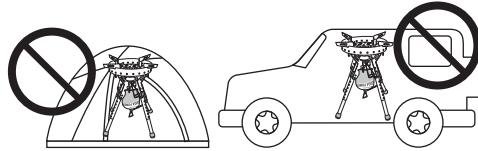
夏場など、焼けて熱い砂浜や川原の石の上、あるいは舗装路面上では使用および放置をしないでください。



■ 理由 ■直射日光を受けた砂浜や川原の石あるいは舗装路面上は高温になっています。その上に容器を放置したり、器具を使用すると容器が過熱され内圧が急激に上昇し異常燃焼をしたり爆発することがあります。

警 告

この器具は屋外専用です。テントの中や車中、屋内では絶対に使用しないでください。屋外であっても狭い空間では換気にご注意ください。



■ 理由 ■この器具は屋外専用に設計されています。使用中は酸素を大量に消費します。限られた空間での使用は酸欠、一酸化炭素中毒になることがあります。また火災の危険もあります。

警 告

容器を接続する前には、必ず器具栓ツマミを時計回転方向に回し器具栓が閉じていることを確認してください。

■ 理由 ■収納時や運搬時に器具栓が開いてしまうことがあります。容器接続の際は器具栓が閉まっていることを確認してください。

閉める

器具栓

ツマミ

時計回転

方向

回す

器具栓

ツマミ

時計回転